

お母さんへのお土産話

四年松組

杉野

遥香

「今日は学校どうだった？」

お母さんは、毎日毎日聞いてきます。話し

始めると、いちいち割りこんで聞いてくるの

で、これがなんともつかれるのです。だから、

私は「よかったよ。」いつも通り、などいま

で、かんとんにすませてきました。お母さんが

元気百倍の時は、

「どう良かったの？」と、突っこみが入って

きます。

「今日ね先生か、三つもたしゃれを言ったん

だよ。」

「お弁当を、食べる時間が少なくて、ちよっ

とのこしちゃった。ごめんね。」などサービ

スで答えます。そういう時は、なんとなく会

話が盛り上がりします。しかし、聞かれない時

もあります。多分つかえている時です。そん

な日は、ねる前に少し肩たたきでもしてあげ

るかな、と思ったりします。

妹は、毎日帰ってきてはお母さんにまとわりつき、学校での出来事を楽しそうに話しています。

「今日ね、お友たちがねおもしろい事言ってきたんだよ。聞いていてとってもおもしろかったの！」

「先生は、オムライスが好きなんだって！」
それを聞いているお母さんは、表情がくるくるとかわってゲラゲラ笑っています。そんな二人を見ていると、だんたんうらやましくなってきた。私も負けじと話し出します。するとけんかになっしまいました。お母さんのうばい合いみたい。

私が朝起きると、もう私達のためのスイッチが入っているお母さん。
お弁当やおはんを作ってくれ。かみの毛をむすんでくれる。矯正の歯の仕上げみがきをしてくれる。おすれ物がないか聞いてくれる。そして、最後に必ず「行ってらっしゃい」と言ってくれ。一日の間で思い出してみると

百くらいありそうです。お母さんは私達の事は
はかり考えてすごしているみたい。

よく私達二人にじょう談てこう言います。

ママは、二人のファンなのよ。ファンクラ
ブ第一号！

先週、たんにんの先生がこんを話をしてく
れました。

お母さんにとってはお母さんが、学校での
出来事を話してくれる事が、一番のごほう
ひなのよ。肩たたきしてあげようか？

お手伝いしてあげようか？と言ってあ
げるよりもうれしい事なのよ。と、教えて
くれました。

これからはもっとも、お土産話するか
らね。いつもありがとう、お母さん。